

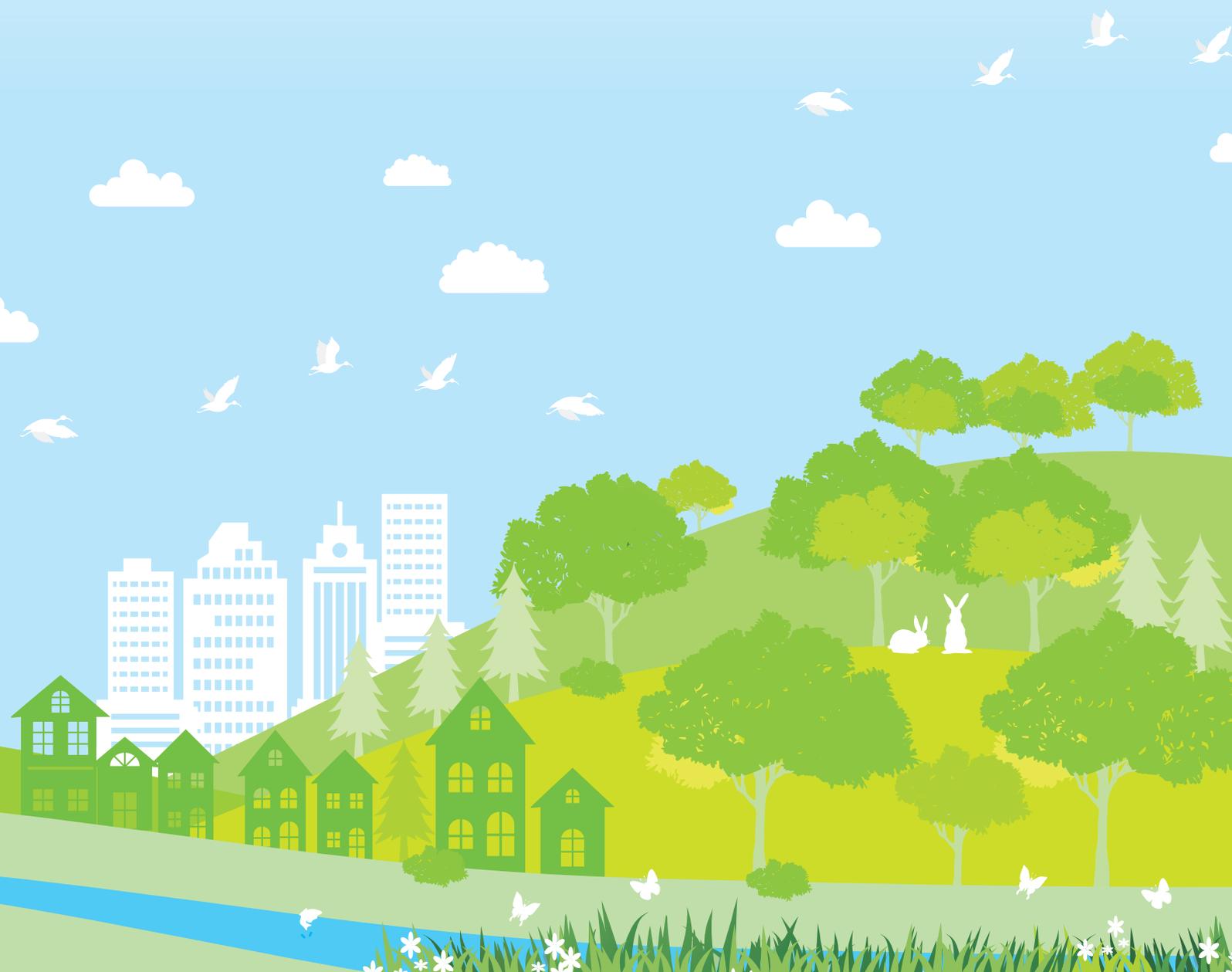


ECO-TOP プログラム

自然環境保全のための人材育成・認証制度

東京都・大学・企業・NPO 等が連携し

自然環境分野で活躍する人材を社会に送り出すための人材育成プログラム

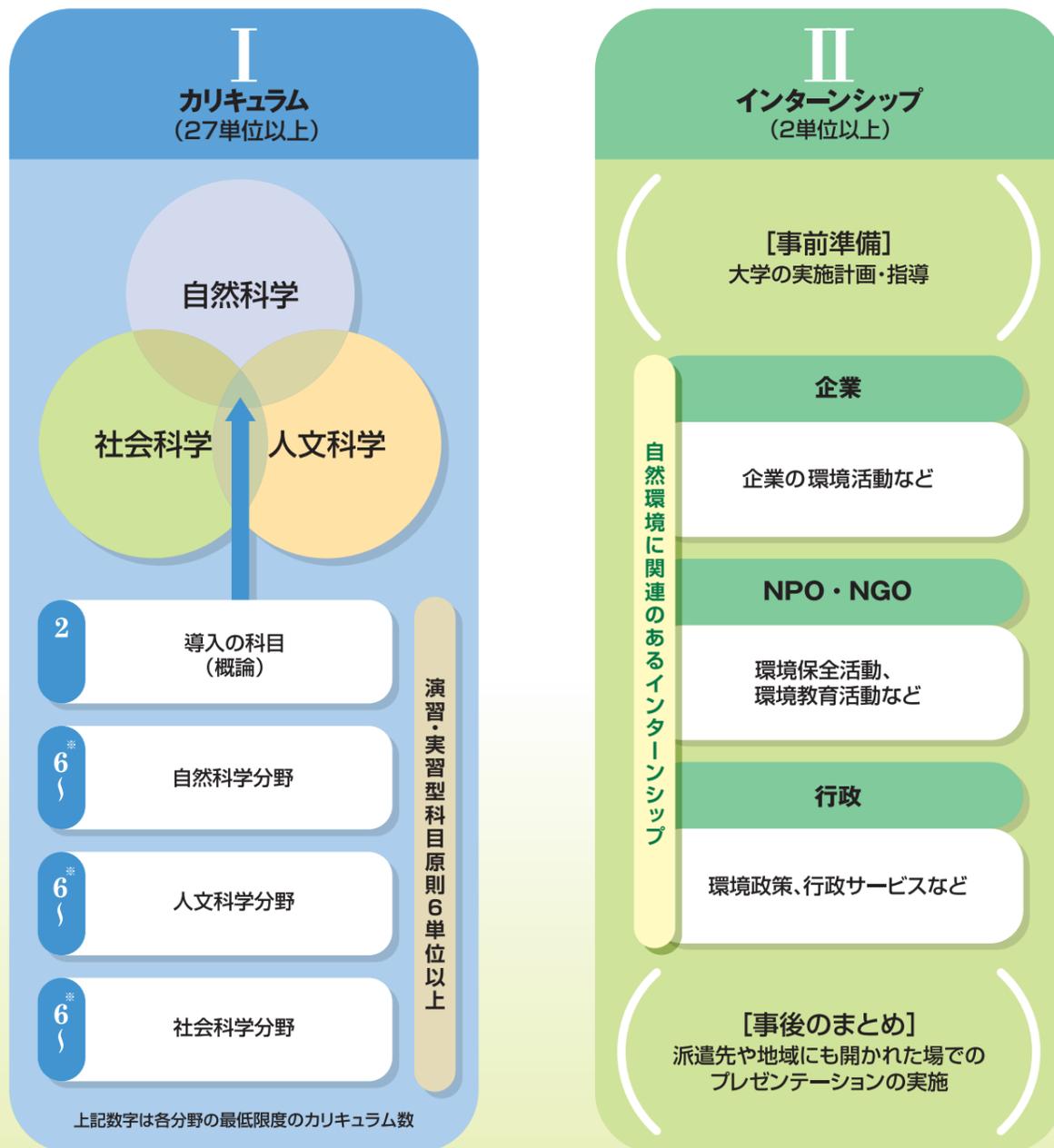


大学等が自然環境保全のための教育課程を設け、東京都が「ECO-TOPプログラム」として認定します。

ECO-TOPプログラムの履修生は、授業で自然環境分野の幅広い知識を得ることができ、インターンシップにより企業、NPO、行政の実社会における自然環境に関連のある職場体験をします。

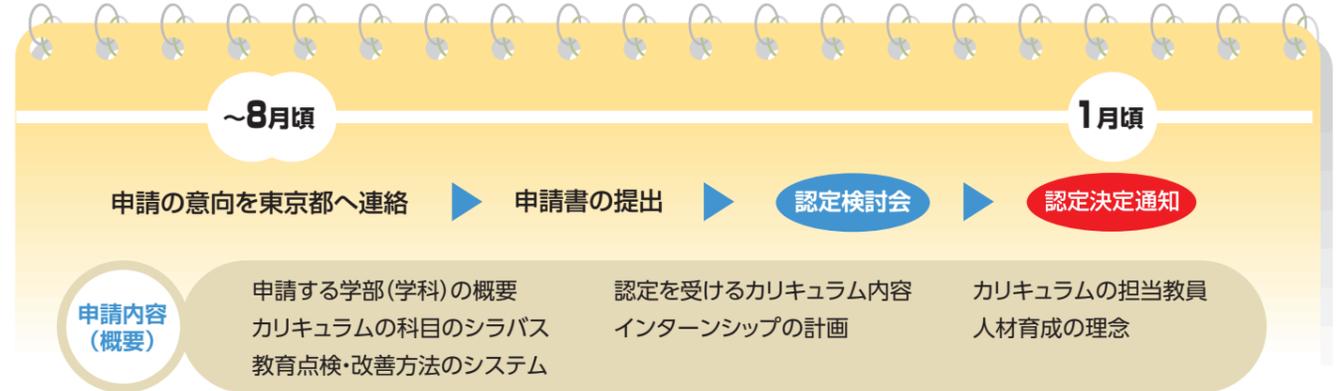
また、プログラムの修了生には、自然環境に関する最新の知識・情報を得る機会を提供するなど、継続的な支援を行っていきます。

〈プログラムの構成〉



※各分野で原則6単位以上設定することとしているが、1つの分野につき6単位以上設定できない場合は、総合的に判断する。

※詳細はECO-TOPプログラムの認定審査基準を参照 <https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/eeco-top/download>



ECO-TOPプログラム 認定の手続

東京都が制定した「ECO-TOPプログラム」認定要綱及び認定審査基準に基づき、大学から申請されたプログラム内容について、認定検討会に意見を聴取し、ECO-TOPプログラムとしてふさわしいかを精査した後、手続を経て東京都知事が認定します。



※認定の様式等はECO-TOPプログラムの認定要綱を参照 <https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/eeco-top/download>

ECO-TOPプログラムはSDGs達成に寄与する人材育成制度です

東京都は、ECO-TOPプログラムが、自然環境分野に関連する様々な社会的課題の解決につながることを期待しています。以下には、SDGsの中でも特に自然環境分野と関わりが強いものを事例として挙げています。



ECO-TOPプログラムでは、企業・NPO・行政における自然環境に関連のあるインターンシップを義務づけています。

インターンシップにおいては、「自然環境分野の課題解決や自然を活用した社会的課題解決に資する実社会の経験」が盛り込まれていることを推奨しています。

インターンシップで都が推奨する業務体験の想定事例

①自然環境のフィールドワークに行く業務体験の想定事例

里山で保全活動を行っている行政やNPOで、四季を通じた活動に主体的に参加し、里山の維持管理ノウハウや市民活動の重要性について学ぶ。

事業者から受託して環境影響評価の調査を行うコンサルタントの調査現場や外来種駆除を行う事業者の作業現場に同行し、環境に配慮した開発のあり方を考える。

②自然環境のフィールドワークに行かない業務体験の想定事例

持続可能な原材料調達や環境配慮商品に関する国際認証ラベルを推奨する団体や自然環境問題について政策提言を行うNGOやNPOなどにおいて、国際的な最新情報に触れながら将来の社会のあり方を考える。

薬剤など自然資源を原料として活用する企業や自然の機能を防災・減災に活用(Eco-DDR)する行政等において、自然を活用した社会的課題の解決策(Nature-based Solutions)について考える。

5月

7月

～9月頃

11～12月

インターンシップ
派遣予定者の決定

インターンシップ実施

インターンシップ
合同報告会

企業インターンシップ

実績例 J&T環境株式会社



生育調査の様子



廃棄物処理工場の見学

- 実習生：2名
- 実習期間：令和6年8月22日(木)～8月29日(木)の期間中の5日間
- 実習目的及び概要：
総合資源化リサイクル事業としてのリサイクルの現場を学ぶ。特に、食品リサイクル工場におけるコスト試算や肥料化の推進業務を通して、現状のリサイクル課題の抽出と解決策の提案を行う。

日程	実習内容	場所
8月22日(木)	会社概要説明、廃棄物処理工場見学①	本社、工場
8月26日(月)	廃棄物処理工場見学②、土壌分析	工場、事務所
8月27日(火)	栽培試験圃場見学、生育調査	圃場
8月28日(水)	処理コスト調査、設備コスト試算	事務所
8月29日(木)	実習報告書作成、報告会	事務所

令和6年度の主なインターンシップ受入企業 ※五十音順

株式会社環境指標生物、株式会社千代田コンサルタント、株式会社ドーコン、株式会社ポリテック・エイディディ、下田アクアサービス株式会社(下田海中水族館)、J&T環境株式会社、ムラタ計測器サービス株式会社

NPO等インターンシップ

実績例 NPOフュージョン長池



- 実習生：夏季2人、春季：1人
- 実習期間：令和7年3月22日(土)～3月27日(木)の期間中の5日間
- 実習目的及び概要：

八王子市東由木地区公園(81ヶ所)および長池公園自然館の管理運営業務の実体験を通して、公園の維持管理や環境保全活動、地域協働について学ぶ。また、八王子市北野環境学習センターの管理運営業務への参加を通じて、八王子ならではの豊かな自然環境や生物多様性とその普及活動について実践的に学ぶ。

日程	実習内容	場所
3月22日(土)	八王子市北野環境学習センター(あったかホール)の見学、生きもの展示室のバックヤードでの作業	八王子市北野環境学習センター
3月23日(日)	八王子市長池公園の見学、パークキッズレンジャー活動への参加	八王子市長池公園
3月24日(火)	長池公園自然館内の展示物の搬入、里山保全隊活動への参加	
3月26日(水)	他公園との意見交換・交流会への参加、キッズスペースのおもちゃ製作	
3月27日(木)	公園内の緑地管理作業への参加、キッズスペースのおもちゃ製作	

令和6年度の主なインターンシップ受入NPO ※五十音順

一般財団法人 環境イノベーション情報機構、一般社団法人まぢやま、グリーン購入ネットワーク(GPN)、公益財団法人かながわ海岸美化財団、公益財団法人日本環境協会、特定非営利活動法人アース・エコ、NPOフュージョン長池、NPO法人国際自然大学校、NPO法人ネイチャーリーダー江東

行政インターンシップ

実績例 東京都環境局自然環境部



保全地域での視察の様子



最終日の発表の様子

■ 実習生：5名

■ 実習期間：令和6年8月26日(月)～8月30日(金)の期間中の5日間

■ 実習目的及び概要：

自然環境保全に関わる業務及び現地視察を通して、行政の自然環境保全に対する理念、手法及び方針などを学ぶ。また、まとめとして自然環境行政についての提案を行う。

日 程	実 習 内 容	場 所
8月26日(月)	オリエンテーション、東京都環境局自然環境部の事業説明、生物多様性に関する説明	東京都庁
8月27日(火)	ネイチャーポジティブに関する取組の説明 民間緑地視察	東京都庁 民間緑地
8月28日(水)	・保全地域制度や保全地域での取組について（講義） ・保全地域視察	東京都庁 雑木林のみち
8月29日(木)	課題解決策の議論、発表資料作成、中間発表	東京都庁
9月30日(金)	課題解決策の発表、意見交換	東京都庁

令和6年度の主なインターンシップ受入行政 ※五十音順

エコパークさがみはら（相模原市立環境情報センター）、公益財団法人東京都環境公社、座間市くらし安全部、東京都環境局自然環境部、八王子市環境部、町田市環境資源部

インターンシップ合同報告会

例年秋ごろ、認定大学によるインターンシップ合同報告会を開催しています。

令和6年度の合同報告会は、学生や教員、インターンシップの受入先となった企業、認定検討会委員など約50名が集まり盛大に開催されました。

報告会では、インターンシップを経験した学生によるポスター発表が行われ、参加者同士による活発な意見交換が行われました。学生たちは、自然環境分野に関する様々な課題や取組に対する理解を深め、新たな視点を得る機会となりました。また、インターンシップでの経験を振り返り、学びを再確認するとともに、プレゼンテーションやコミュニケーション能力の向上に役立てる貴重な経験にもなりました。さらに、報告会後の交流会は、大学や関係機関の枠を超え、参加者同士のつながりを深める有意義な時間となりました。



プログラム履修のメリット

○緑のボランティア指導者育成講座の受講料減額

東京都環境局では、自然観察や緑地保全活動などのボランティア活動の指導者を目指す方のために、基礎技術や指導法等が学べる講座を開設しています。募集人数には限りがありますが、ECO-TOP修了生には別途募集枠を設けており、受講料の減額もあります。



○環境カウンセラーの登録要件緩和

環境カウンセラー制度は、市民や事業者が行う環境保全活動に対して、豊富な知識と経験を活用して助言を行うことができる人材を環境省が登録する制度です。市民団体や学校の相談に対応する「市民部門」は、通常登録申請のためには4年間以上の環境保全活動に関する実績が必要ですが、ECO-TOP修了者は実績年数が1年とカウントされ、実績年数が短縮されます。

ECO-TOPプログラムを履修した先輩の声

令和6年度 ECO-TOPプログラム修了生 **風間 洸様**

私は、山や海、公園などの自然環境を身近に感じ、その美しさや恩恵に与りながら育ちました。その中で昨今の人間活動によって動植物が減少している現状を知り、強い責任感や使命感をもったため、環境を守る人材を目指したいと考えました。本プログラムでは座学に加え現場での実践をもって、環境問題の現状理解と緩和手法について広く深く学ぶことができました。

行政やNPOなど複数の主体でのインターンシップでは、行政の“周知力”を活かして社会目標を設定し、企業・NPOの“技術力”を活かして目標の実現へと結びつける、といった繋がりを学ぶことができました。また、あらゆる活動の振興と継続には、市民の参画や協力が必要不可欠であることを痛感しました。沢山の人の関わり、幅広い知識や考え方、経験を得られたことにとっても感謝しています。

これからも、様々な人との出会いや学びの中で多様な価値観を受け入れる柔軟性をもって、挑戦と内省を大切に、自己成長を続けていきたいと思えます。そして、人と自然が共生する社会の実現に向けて、自然の美しさや大切さをより多くの人に届ける活動に尽力していきます。

ECO-TOPプログラムが目指す人材像 (Ecological Conservation Training of Personnel Program)

“自然環境に軸足を置いたジェネラリスト”

- 1 自然環境保全に向けて様々な主体と協働できる能力がある人
- 2 一地域の現場から、次世代を見据え、グローバルな視野に立って自然環境を考えることができる人
- 3 論理的思考力と説明・コミュニケーション能力がある人
- 4 決定能力とリーダーシップがある人
- 5 現場感覚を持ち、アクティブに行動できる人

認定大学

- 東京都立大学 (都市環境学部 観光科学科)
- 玉川大学 (農学部 環境農学科)
- 桜美林大学 (リベラルアーツ学群 環境学プログラム)
- 武蔵野大学 (工学部 サステナビリティ学科)
- 東京薬科大学 (生命科学部 応用生命科学科)

ECO-TOP インターンシップのご案内

東京都ではECO-TOPプログラムの趣旨に御賛同いただき、ECO-TOPプログラムのインターンシップを受け入れていただく、企業、NPO・NGO、行政機関を募集しています！
受入れを希望される団体は、以下のお問合せ先までご連絡ください。

ECO-TOPプログラム ホームページ

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/eco-top>



東京都

ECO-TOP プログラムに関するお問合せ先

東京都環境局自然環境部計画課 (計画担当)

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第二本庁舎19階

TEL 03-5388-3548

Mail S0000631@section.metro.tokyo.jp



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。